

USP の安全に関する重要な情報 本ガイドを保存してください

この安全性に関するご案内には、APC™ by Schneider Electric 機器およびバッテリーの設置および保守の際に従うべき重要な注意事項が記載されています。

APC by Schneider Electric 機器の設定、取付、移動、または保守に際しユーザの皆様に参照していただくことを目的としています。

本マニュアルに記載された安全に関する注意事項をすべて通読、理解した上で、それぞれの項目を順守してください。この安全に関する注意事項や警告を無視すると、機器の破損や人体への重大な傷害、死亡事故に至る可能性があります。

Schneider Electric IT Corporation が明示的に推奨していない、装置への変更、改造を加えた場合、保証が無効になることがあります。

製品取扱に関するガイドライン



<18 kg
<40 lb



18-32 kg
40-70 lb



32-55 kg
70-120 lb



>55 kg
>120 lb



- 国および地域の電気規制すべてに従ってください。
- 本機器は、アクセスが制限された場所において使用されることを意図しています。
- 全配線は必ず資格のある電気技術者に依頼してください。
- 危険な条件下では一人で作業をしないでください。
- 本 UPS は屋内専用に設計されています。
- 本装置を、直射日光が当たる場所、液体に触れるような場所、あるいは過度のほこりや湿度のある場所では作動しないでください。
- UPS の通気孔を塞がないでください。適度な換気を得るための適切なスペースを確保してください。
- USP に工場にて電源コードが取り付けられている場合は、UPS の電源コードを直接壁コンセントに接続してください。サージ保護装置や延長コードは使用しないでください。
- 本機器は重量物ですので、必ず機器の重量に適した安全な持ち上げ方法を使用してください。
- バッテリーは相当な重量があります。ラックに UPS および外部バッテリーパック (XLBP) を取り付ける前に、バッテリーを取り外してください。
- ラックマウント設定では、必ず下部に XLBP を取り付けてください。UPS は XLBP の上に取り付ける必要があります。
- ラックマウント設定では、必ず UPS の上にある周辺機器を取り付けてください。

電気関連の注意事項

- 電源を取り外すまでは、金属製のコネクタを取り扱わないで下さい。
- ハードワイヤ入力式モデルの場合は、分岐回路 (主回路) への接続は、資格を持つ電気技術者が行う必要があります。
- 230 V モデルのみ：ヨーロッパで販売される製品に関する EMC 指令に適合するため、UPS に接続される出力コードは、長さが 10 m を超過しないようにしてください。
- UPS の保護用アース線は負荷機器 (コンピュータ機器) から漏れた電流を逃がします。UPS を補充する分岐回路の一部として、絶縁した接地線を設置します。接地/非接地電源配線として、導線は同じサイズの絶縁材である必要があります。通常、導線は、緑色一色か、緑地に黄色のストライプです。
- プラグ接続タイプ A UPS の漏洩電流は、別途アース端子が使用されている場合、3.5 mA を超えることがあります。
- UPS の入力アース線は、サービスパネルの保護用アースに適切にボンディングする必要があります。
- UPS 入力電源が個別に導入されたシステムにより供給される場合は、アース線を電源供給変圧器または電動発電機に適切にボンディングする必要があります。

ハードワイヤ接続の安全に関する注意事項

- 国および地域の関連法規を確認してから配線を行って下さい。
- ジャンクションボックスまたは UPS を問わず、ケーブルを取り付けたり、接続したりする前に、分岐回路（主回路）および低電圧（制御）系統のすべての電源が切れ、ロックされていることを確認してください。
- 必ず、資格を持つ電気技術者が配線を行って下さい。
- 全てのハードワイヤ接続には張力のがしが必要です（選択された製品に付属しています）。スナップインタイプの張力のがしをお勧めします。
- UPS のハードワイヤ端子にアクセスが可能な穴は全部塞いでおいてください。この処置を行わなければ、人体への傷害や機器の破損を引き起こす場合があります。
- 国および地域の関連法規に従って、ワイヤのサイズとコネクタを選択して下さい。

無励磁の安全について

- UPS にはバッテリーが内蔵されており、AC および DC 電源から切断するときに感電することがあります。
- いつでも、AC および DC 出力コネクタは、リモート制御または自動制御により電圧がかかる場合があります。
- 機器の設置または保守を行う前に、以下を確認してください。
 - 入力サーキットブレーカは、**オフ**位置にあります。
 - 内部 UPS バッテリーは取り外されています。
 - XLBP バッテリーは切断されています。

バッテリーの安全について

- 通常バッテリーの寿命は 2～5 年です。使用環境の条件によってバッテリーの寿命が変わります。なお、大気温度が高い条件下での使用、商用電源の低品質、短時間の頻繁な放電はバッテリーの寿命を短くします。バッテリーは、製品寿命を迎える前に交換する必要があります。
- 装置がバッテリー交換が必要である旨を表示したときは、直ちにバッテリーを交換してください。
- バッテリーを交換するときは、装置に初めに取り付けられていたバッテリーと同じ番号とタイプのバッテリーに交換してください。
- APC by Schneider Electric では、保守不要の電解液漏れ防止密封鉛バッテリーを使用しています。通常の使用および取り扱いにおいて、バッテリーの内部コンポーネントに接触することはありません。バッテリーの過充電、過熱または他の誤用は、バッテリー電解液の放電につながります。流れ出る電解液は有毒であり、皮膚や目に障害を与える恐れがあります。
- 注意：バッテリーの取り付けまたは交換を行う場合には、貴金属や腕時計、指輪などのアクセサリは外してください。絶縁された道具を使用します。導電性物質を通して、高い短絡電流が発生した場合、重度のやけどを引き起こすことがあります。
- 注意：バッテリーを火に投じないで下さい。バッテリーが爆発する恐れがあります。
- 注意：バッテリーユニットを分解しないで下さい。流れ出る物質は皮膚や目に有害だけでなく、有毒な場合があります。

一般的な情報

- UPS は、UPS の接続されている外付けバッテリーパックを 10 個まで認識します。
- モデルとシリアル番号は背面パネルの小さなラベルに示されています。モデルによっては、前面カバー下のシャーシにもラベルが貼られています。
- 古いバッテリーはリサイクル処理に回してください。
- 梱包材は、再利用するか、再利用するために保管してください。